

# 第1回 向陵中学校の使用についての三者協議

11月18日(火)午前10時から札幌市立向陵中学校校長室において、札幌遠友塾が同校教室

を来年4月から使用するにあたっての要件を話し合う第1回三者協議(札幌市教委、向陵中、札幌遠友塾)が行なわれました。

## ◇出席者

- 札幌市教委 : 伊藤・生涯学習推進課社会教育担当係長、中・同課主査
- 札幌市立向陵中 : 佐藤校長、小原教頭
- 札幌遠友塾 : 工藤代表、守田・丸山副代表
- 北海道に夜間中学をつくる会 : 清水事務局長、泉事務局次長

## ◇協議の経過

- 伊藤係長が三者協議を持つにいたった経緯を説明。
- 工藤代表が今回の回答にお礼を述べました。特に夏の試行使用の際にチャイムを鳴らしてくれた学校側の好意に深く感謝しました。また、市教委と向陵中学校に12月17日のクリスマス会への出席をお願いしました。
- 来年4月以降の教室使用とは別に冬休み中の1月14日(水)に教室を使わせてもらえないかをお聞きしたところ、佐藤校長は快く承諾してくださり、市教委にも了承していただきました。合わせて、その日の「はじめの会」に多目的教室も借りることができました。
- なお、3月の遠友塾卒業式と春休み中の補習のための教室使用は、学校が年度末で多忙な事情を考慮して要望しないことを学校にお伝えしました。
- 協議ではまず、工藤代表が遠友塾の教室を使つての2009年度授業日程、さらに教室を使わないクリスマス会行事、スタッフ会議や賛助会員への発送物の袋詰め作業などは従来どおり教育文化会館を使うことを表明しました。
- 佐藤校長が示した学校の行事予定(三者懇談会、学校祭など)と遠友塾の授業日程とをすり合わせし、遠友塾の授業に教室を使える日と使えない日とが決められました。→資料①
- 市教委からは、夏休み中や冬休み中は耐震改修工事の為に使えない(工事日程は来年に確定)こと、さらに水道やトイレ、暖房の故障などで当日になって突然使えなくなることがあるので了解してほしい、との話がありました。―― そのような緊急時には、遠友塾緊急連絡網で連絡しますので、ただちに工藤代表にお知らせいただくようお願いしました。



- 今回の使用要件に含まれていない事項は次からの協議で取り決めていきます。

◇ 今協議では夏の教室試行利用の際に受講生から出された要望を協議しました。

- 洋式トイレ・障害者用トイレは備わっているとのことです。
- 階段に設置する昇降機あるいはエレベーターの設置は今のところ考えていなとのことでしたが、「これから障害をもった子どもたちが入学することもあるし、学校にとってもよいことなので」と改善を要望をしました。
- 照明がやや暗かったことも改善をお願いしましたが、照明については佐藤校長から、学校施設の照度基準は満たしていることの説明がありました。
- 夏の暑さをしのぐため窓に網戸がほしいとの要望も上げました。
- また、教職員の方、PTAの方、生徒たちにもお礼のあいさつをする機会を設けていただくようお願いしたところ、校長は快諾してくれました。――2月20日(金)に職員会議と夜にPTAの実行委員会があるので、そこで紹介していただけることになりました。生徒たちには、遠友塾の学校での授業が定着し、生徒たちも慣れてからにすることになりました。
- 佐藤校長は来年4月で退職されますが、これら学校使用の引き継ぎについてはきちんと行う事を約束していただきました。

次回の三者協議は年明け1月19日の週を予定しています。

以上